

はらき

信楽通信 第229号 2018. 1. 31 発行
 信 楽 青 年 寮
 コーケンター紫香
 しがらき地域生活支援センター
 甲賀働き暮らし応援センター

URL <http://www.shigaraki.or.tv> e-x-ll shigaraki@miracle.ocn.ne.jp

みんなで歩く、湖(うみ)、島、お寺展

八月から成安造形大学の学生や大学出身の作家さんと共に交流し、作品制作を行うというプロジェクトが始まりました。この日本遺産に指定されたことから、この景観群にお出かけをし、作品制作をしませんか。と、大学側からお誘いを受けたものでプロジェクトが始まってから十月に沖島、伊崎寺(近江八幡市)、十二月に三井寺(大津市)に出かけました。作品制作は利用者さんが学生や作家さん達と共有し作品としていく、今までにない壮大なプロジェクトに臨んでいます。二月には左記のように大学で作品展を行います。利用者さんの感性や表現を活かした作品が、学生や作家どのコラボレーションで様々な人に感動や驚きを与えるようなものになるように願っています。



開催期間 2月10日(土)～3月3日(土)
 *休館日: 日・月曜日(2/12は開館)
 所 成安造形大学
 大津市仰木の里東4-1-3-1

しがらき地域活性化事業 第4回ワークショップ COMECOME SANTI!!

11月25日(土)、今年度4回目のワークショップをFUJIKI(旧 藤喜陶苑)で開催しました。今回のテーマは「COMECOME SANTI!!〜クリスアツツリーを作ろう〜」ということで、クリスアツツリーに向けてクリスアツツリー作りを行いました。このワークショップのおなじみとなってきた陶器のカップに、青年寮の利用者さん手作りのさをり織り、可愛く色づけされたどんぐり、カラフルなスパイコールやアカロニなどで飾り付けをし、とても個性豊かで、見ているだけで楽しくなっていくようなクリスアツツリーがたたくさん出来上がりました。

当日は午前19名、午後16名の方が参加してくださり、地域の子どもさんとその保護者の方、利用者さんが一緒に機を囲み、和気あいあいと制作をされている姿を見ることができました。

最後に、ホットカルピスとサンタさん模様のカップケーキを食べ、一足早いクリスマス気分を味わっていただけたかと思えます。



次回 第5回ワークショップ開催案内



「ひな祭り」をテーマにしたワークショップを FUJIKI にて開催いたします。

開催日時: 平成30年2月17日(土)

- 午前の部 10:00～11:30 (20名)
- 午後の部 13:30～15:00 (20名)

【参加費: 無料】*町内在住の方ならどなたでもご参加いただけます。参加希望の方は必ず信楽青年寮までご連絡お願いいたします。【☎82-05881】

☆クリスマス会の報告☆

12月22日に青年寮でクリスマス会を行いました。昼食は、里芋コロッケをメインとし、チキンの香草焼きなど豪華なものでした。

クリスマス会では最初、職員によるハンドベルの「きよしこの夜」の演奏をバックに利用者さんによるキャンドルサービスが行われ、クリスマスツリーに明かりが灯ると大きな歓声が上がりました。他にも職員による歌や楽器演奏がありました。お待ちかねのプレゼントタイムでは、「自分はまだかな?」とソロソワされている方も見受けられ、一人ずつ「メリークリスマス!」とサンタさんからお菓子のプレゼントを貰い喜ばれました。皆さんにとって楽しいクリスマス会だったと感じました。

◇ ほのぼの交流会 開催のお知らせ ◇

【日時】2018年3月17日(土)11:00～14:00 《雨天時11:45～》
 【場所】信楽青年寮 作業場前
 【参加】参加費: 無料
 地域で暮らす障害をお持ちの皆さん! 青年寮で楽しいひとときを過ごしませんか? 楽しい催しもあります。まずは青年寮まで事前申込み下さい。【☎82-05881】
 ※申し込み締め切り日: 2月23日(金)



第7回 障害のある人による公募作品展

毎年、滋賀県手をつなぐ育成会主催の「びかつアート展」という滋賀県内の障がいをもった人たちが対象とした作品公募展が開催され、今回で第7回を迎えました。12/1(金)～12/10(日)まで草津イオモール内のホールで開催され、信楽青年寮から大杉和夫さんの作品(立体)が実行委員長表彰(佳作)、松本孝夫さんの作品(平面)が審査員特別賞を受賞され、12月10日(日)のイオモールでの表彰式に出席されました。今回の受賞は、お二人にとって大変励みとなる賞であると共に、日頃の作品に対する思いや、ひたむきに取り組み姿勢が力となり、受賞に繋がったと思います。



「しがらき地域生活 支援センター」だより

しがらき地域生活支援センター「こうやるんや」と教えてもらい企画の年末年始イベントの紹介と一緒に楽しみました。蕎麦ををさせて頂きます。帰省の予定切る時が一番難しく、きしめんやうどんの太さになってしまいくらいの大きさになってしまいがたいグループホームの利用者の方を対象に、年末には「年越しそば」を、年始には「初詣とからしんぐ」を企画しました。ボートレースを企画しました。年越しそば企画については、今回NPO法人ふれ愛パークに言われています。初めての蕎麦打ち体験は大成功に終わり、二月初めて蕎麦打ちをされる方ばかりで、戸惑いながら、ウイ、ガヤガヤと楽しく先生の話や先生から蕎麦打ちの話を良く聞きながら蕎麦打ちをされてきました。「見て！宮に参拝し、お正月気分を味わうことができます。皆それぞれこんなあった！蕎麦の匂いすらに御養錢を入れてお参りされ、おみくじや御守りを買って「大それた様子でした。」

吉や！「吉やったわ！」と盛り上がり上がっていました。今年目標なども話していました。昼食は和食のさで各自食べたい物を摂り、最後にボートレースをゲームしました。ゲームなしのゲームだったので、ストライクやスパアも出て盛り上がりました。景品を準備していたので皆さん好きな物を選ばれました。後日ある利用者さんが「小旅行に行つたみたいで楽しかったわ」と話されていました。にぎやかな年末、年始となり何かとお騒がせしますが、本年も変わらず、しがらき地域生活支援センターをよろしくお願ひします。(小川・小西 記)

甲賀市信楽町長野1245
TEL 0748(82)8210

「フークセンター紫香楽」より

二〇一八年、新年を迎えましてフークセンター紫香楽では恒例の「新年会」が行われました。今年は三重県の「サンピア伊賀」の利用者が、それぞれの楽しい食事とカラオケを楽しむ、作業班ごとの発表会、利用者さん一人一人の新年の抱負発表がありました。フークセンター紫香楽には、手渡し和紙作成班、和紙商品加工班、委託商品組み立て班、委託清掃員班、サロン、就労移行の作業・活動班があります。それぞれの班で自信をもって取り組んでいる自分の役割を生き活きと発表され、みなさんの仕事表がありました。



みなさんの思いに沿って、委託商品加工、委をすることを確認しました。(植田 記)



「フークセンター紫香楽」
甲賀市信楽町神山494-1
TEL 0748(82)2198
FAX 0748(82)2199

「甲賀働老暮らし」だより

「働」は自立した自主活動

働かせるのではなく、働くのである。だから、強制、強要されるものではない。

働きたいが、上手く行かない。働きたいが、自分の能力がわからない。働きたいが、長時間は難しい。病気、家事、育児、介護等様々な個人的な事情を抱えている。「暮らし」では、自分の生活の実情に合う働き方、働く場所、働く時間、仕事内容がなくても必要。そんな、現実と自分の事情や家族、家庭環境にはさま



滋賀県障害者働き・暮らし応援センター

「共」に、その人を「応援」する。そんなセンターでありたいと二〇一八年、平成最後の初春に誓う。

甲賀働き暮らし応援センター
甲賀市水口町水口6200
0748(63)5830

「職員コラム」

この時期の私の楽しみはホムパターです。招待する時・招待される時もあります。

気分知れた友人・家族と美味しい料理を食べてお酒を飲み、楽しい時間を過ごします。今回は燻製でステーキングが立派に完成し、皆さんに振舞えたのがとても嬉しかったです。

他にお菓子を作る・食べる事も好きです。ドリップしたコーヒーとスイーツを楽しむ時間は至福の時です。コーヒーの香りが部屋中に広がるのが心地良いです。これからの美味しい物を食べ・作り・見にしたいです。



(A・K 記)

ダブルアップ ～私の視点～

私が青年寮で働き始めて今年度5年目となります。青年寮に来て少し恐くなった時期もありましたがこの間のこのように、自分もそう思うってしまうのかな。私が仕事をすると一番大切目 3年目、4年目、今年で5年目です。結論から言うと、新人の頃よりに楽しく働いています。利用者さん生活を支えるのが私たちの仕事。新しい発見の毎日でした。そんなある日、今は既に退職されていますが、日々の支援の中で、利用者さんから元気をもらっていると思うれています。当時は先輩職員に「何年か経つと楽しく無くなつてくるよ」と言われました。今です。初心忘るべからずとはよく聞いています。本当にその顔を大切に、日々の生活を支えつ、うなか、新人のうちは楽しいけれど、何年かするともしかしたら

(小森 記)